



刊夕日六月十

家庭講座
兒童に及ぼす
童話の感銘 (七)
 仙台放送局の講演速記
 川崎小鳥講述

子供は遠慮のないものでありますから、自由自在に伸び伸びと振舞ひ度い、而して大人は夫れを許しません「こうしてはいけない」「ア、してはならぬ」と直ぐ押へ付けて仕舞ふから兒童の小さな、柔かない心は、どんなに家庭や學校に窮乏さを感じて居るか知れません。夫れが今の様な童話を聞く事に依つて初めて暢んびりとした自分

等の世界に住む事が出来、愉快な生々とした気分になれるのであります。

然るに「勸善懲惡」の意味がこめられてないからと云つて、但今申上げた如き優れた働きを持つ童話をも排斥し得べきで御座います。うか、どうか是れは篤くと皆様方の賢明な御判断に訴へる次第であります。

夫れから世には童話を批評する人があります、その批評の理由としては、先づ童話は桃の中から赤ん坊が生れたり、灰を撒いた事に依つて枯木に花が咲いた等といふ荒唐無稽な空想から出た嘘を教へるからいけない

いとふ事です。成程、正直そのもの、權化の様な兒童に嘘を教へるとすれば夫れはよくない事下御座います。

而しながら、これはよく巖谷先生の申さるゝ處で御座います、嘘には罪のある嘘と、罪のない嘘との二つがあります、罪のある嘘は種々なる間違へを引き起す因であります、是れは極力斥けなければなりません、而し罪のない嘘は寧ろ人々の精神上の養ひとなつて、害のある處か、反つて一層の意義のある働きを發揮するのであります。

(續)

定一前金武銭
 一ヶ月五元
 三ヶ月十三元
 半年二十五元
 一年五十元
 廣告五元
 印刷費五元
 電話六〇番

看護婦派出
 の求の應ず
 平看護婦會
 電話三〇七番

美味評判
 平町新川町(縣社通り)
 味の平食堂
 オの部話電四六〇番

梅毒 淋病
 皮膚病專門婦人病
松村病院
 平町南
 電話七〇一

赤心堂病院
 (電話四七五番)

外科 花柳科
 婦人科 産科
 内科 × 光線科
 平町字田町

秋愛酒吟詩
 銘酒
木村寅次郎
 電話二〇七番

内臓外科 骨關節外科 整形外科
藤本 順
 院長
木村寅次郎
 院長
木村醫院
 電話一六四番

光線新設
 難波 睦
共濟病院
 電話六四一(一)番

内科 小兒科 (院長毎日診療)
 院長 醫學博士 難波 睦
 副院長 醫學士 五十嵐 雄二
 内科部長 醫學士 伊吹 彪二
 外科部長 醫學士 レントゲン科專門
 外科部長 醫學士 鈴木 憲介
 (毎日曜手術) 醫學博士 鈴木 退輔
 産婦人科 女子泌尿科 レントゲン科
 産婦人科部長 五十嵐 雄二
 顧問 醫學博士 川添 正道
 本院醫師 法學士 岡 賀澤 忠治 蕃
 本院囑託 法學士 賀澤 忠治 蕃
 本院主事 賀澤 忠治 蕃
 (電話七二番)

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平南町(電話一七〇番)

從六位勳五等功五級桐谷文平儀病氣靜養中の處十月一日再發五日午後十一時十分死去致候間此段御通知代へ謹告仕候
 追血葬儀は十月九日午後一時自宅出棺胡摩澤長源寺に於て執行可仕候
 昭和三年十月六日
 福島縣石城郡平町字胡摩澤
 親戚 桐谷 文平
 總代 田村 哲三
 友人 山崎 與三
 唐人 橋守 次治
 諸橋 守次

外科 専門 × 入院應需
上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

耳鼻咽喉科専門
 場所 (舊診療所裏通り)
合津醫院
 平町仲田町(電話五五九)

米穀重量取引は 需要家に不利益

メートル法取引の欠陥に 相當の對策を要す

去る十月一日より實施された米穀法による米穀重量取引は需要家に非常な不利益を來たすため目下石城郡地方で

物議を

かもしてゐるそれは米穀商は生産者との取引を依然四斗入れによる輸出米検査も四斗入を標準として居り小賣にのみキログラムを使用する結果四斗入の精白米について三キロ乃至四キログラム(二斗一合乃至二升八合)の不當

利益を得てゐること

明かす

なりメートル法により取引上の欠陥を明かにされたがメートル法の實施は商工省に屬し米穀検査法による容積検査は農林省に屬するため實際における取引の疎隔を生じその間徒らに不正商人の跋扈を助長させることとなるので今後何等かの對策を講ぜざる限り重大問題を惹起するものと見られてゐる

生涯を教育に献げて 桐谷文平氏遂に逝く

注射後の治療も効なく 葬儀は九日長源寺に

注射を受けて歸宅の途中突然卒倒し同町胡麻澤一二三の自宅に加療中であつた桐谷文平氏は五日午後十一時十分逝去した葬儀は九日午後一時自宅出棺長源寺に於て佛式を以つて執行さるゝ等因に同氏は明治二年六月十七日千葉縣長生郡西村大字水沼に生れ二十年千葉中學校を卒業して上京、二十六年法學院を卒業伊豫の松山中學校を振り出し群馬縣安中中學校教諭から福島中學校長に更に大正三年九月磐城中學校長に轉じ大正十年三月退職して本縣社會

湯本間國道 路面を改修

石城郡平、湯本間及び平、四倉間國道十三哩、自動車が一平均三百回以上往復する爲め路面の破損甚だし

いので平土木監督所では過



小兒の寝せ方

頭の恰好がよいとか悪いとかいふ事は先天性にもよる

赤井村にて..... 干ウドンの中毒騒ぎ

食へた者皆下痢を始む

金一封贈呈さる

三益玉炭 見本を進呈

丸通の

石城郡赤井村大字高萩字山の入佐藤今朝吉は昨日同村雜貨商安藤平吾衛門方から干ウドン一担(代金八錢)を買ひ求め煮て食へると直ぐ下痢吐瀉を始めた、駐在所に訴出た爲め取調中であるが安藤雜貨店の申立てに依れば昨朝赤井町月見町のウドン製造人だと稱する廿四五歳位へな印袷天を着た男から四十把二圓にて仕入れたものであるとの事にて佐藤方から買った者にて赤石澤其他も中毒症を起して居ると

看護婦の表彰

平町南町清野看護婦會看護婦松本マサノは此程石城郡高久村々長鈴木喜太郎氏から同村離病舎に勤務中平町小童症患者を日夜熱心に看護したとの功に依り表彰状及び

平女子青年團 入團を勧誘

會費は五錢

既報平町女子青年團の組織

事ですが幼兒の折の枕の仕方の習慣によるのが多いと言はれてゐます。例へば右側か左側の方にばかり枕をさせた場合、親が手枕をさせて子供のおごのころに親の手が行つてゐる場合には知らず知らず顔はゆがんで行きます。固い小さい

三口に櫛かる 三歳の幼兒

石城郡内郷村大字宮字岸根磐城炭礦鍛冶職町田寅吉の五男勝美(三)は四日午前十時頃同村津川炭礦捲き下ろし線にて炭車に櫛かれ重傷を負へ死亡したと

平消防組員が 各戸を訪問

家庭消火栓勧誘

既報平消防組の御大典記念事業たる家庭消火栓の据付に關し連日消防組員出動し各戸を訪問勧誘中であると

小名濱築港愈よ 實現可能となる

明年度から着手か

加勢知事の談

本縣唯一の大事業たる小名濱築港費は大藏省の査定を無事通過し豫定通り六ヶ年繼續總額三百八十八萬圓、四年度は六十三萬圓支出される事に決し愈々實現可能となりつつある

唯會議

が解散で今年から實現されなかつたもので當然明年實現されるものと見られてゐた處案の定大藏省を通過し閣議も通過し愈々議會に提案されるであらう縣としては縣の負擔の點淺野氏の寄附其他の點に就き鋭意研究し萬遺憾なきを期する考へである

海相平驛通過 岡田

海軍大臣は大演習に赴く爲

平町で

町勢一斑

新装を凝らして

平町では最近の各種統計を網羅輯録せる町勢一斑を刊行すべく過般來それと準備中の處この程いよいよ完成したが体裁は従來通り折疊式で内容を

連結手櫛死

機關車を避けて

本日午後十二時半頃平町大工町鐵道踏切にて平驛連結手谷牛德三(三)が作業中進行し來つた機關車を避けた處別な線、貨車が滑つて來た爲め夫れに櫛かれて即死

多數で通過 分流水道架橋

本日の平町會

既報平町の急施町會は本日午前十時五十分開會大瀧江筋分流架橋に關する縣からの諮問案を附議したが同分流架橋は平町側と大瀧發電所計畫者側とに四年起しの紛争を重ねた結果計畫者側は平町の要求を容れ調印せし契約案に基くものであるに拘らず吉田野崎の兩町議は反對を唱へたが賛成者廿五名の多數を以つて通過し